

平成24年度中小企業等技術者研修（製紙工学・中期）

研 修 日 程 表

日 時	科 目	講 師	内 容
10月16日（火） （9:00～10:00）	開 講 式（9:00～10:00）		
（10:15～12:15）	製紙原材料概論 （2時間）	富士工業技術支援センター長 倉田 俊彦	パルプ・紙の構成素材について概説する。（パルプ、カラー、填料、薬品等）
（13:15～16:15）	紙料調成法 （3時間）	富士工業技術支援センター 上席研究員 深沢 博之	パルプの離解・叩解効果、叩解の原理と評価法など
10月17日（水） （9:00～12:00）	紙料調成機械 （3時間）	相川鉄工(株) 技術営業部 部長 望月 英雄	叩解機、除塵機、スクリーン等紙料調成機械、白水・排水処理設備について技術解説
（13:15～16:15）	内部添加剤 （3時間）	荒川化学工業(株) 製紙薬品事業部研究開発部 ユニットリーダー 原口 剛士	製紙用内部添加剤（紙力増強剤、サイズ剤、歩留り剤など）
10月18日（木） （9:00～12:00）	抄紙機各論 （3時間）	(株)小林製作所 製紙機械設計部 部長 向井 正仁	ヘッドボックス、プレス、ドライヤーなど抄紙機械の構造及び機能各論
（13:15～16:15）	家庭紙の製造 （3時間）	(社)静岡県紙・パルプ技術協会 技術アドバイザー 壽 和徳	各種家庭紙の製造方法（抄造・加工）及び製造方法による品質の違いについて
10月19日（金） （9:00～12:00）	用紙と印刷 （3時間）	元 日本大昭和板紙(株) 技術開発部長 久保田 道孝	用紙の種類（種類・寸法）、印刷概論、用紙の印刷適正、用紙が原因のクレーム等について
（13:15～16:15）	最近の抄紙機 （3時間）	日本製紙(株) 富士工場 鈴川製造部 抄造1課 課長 大西 勇平	最近の大型高速各種抄紙機の概要と特徴について解説
10月23日（火） （9:00～12:00）	古紙処理法 （3時間）	元 富士工業技術支援センター 研究技監 牧田 輝夫	古紙の離解、精選、脱墨など現場の立場から技術解説
（13:15～16:15）	紙 塗 工 法 （3時間）	(株)IIIフォイト ペーパー テクノロジー 塗工・仕上機械技術部 塗工機G部長 石塚 克己	紙・板紙の顔料塗工法について

10月24日 (水) (9:00~12:00)	仕上包装 (3時間)	元 日本大昭和板紙株 取締役 技術環境室長 上山 繁蔵	紙、板紙製造における仕上げおよび 包装技術
(13:15~16:15)	製紙工業における省エネ ルギー (3時間)	特種東海製紙株 三島工場 動力部 電装課長 露木 智 電装課主任 田中 宏幸	製紙工程における省エネルギー の実際
10月25日 (木) (9:00~12:00)	パイロットマシン利用 抄紙概要教育 (3時間)	(社)静岡県紙・パルプ技術協会 技術アドバイザー 壽 和徳	パイロットマシンを利用して製紙機 器(原質、抄紙)の解説
(13:00~16:00)	品質管理 (3時間)	元 日本大昭和板紙株 技術開発部長 久保田 道孝	製紙製造における品質管理

注:講師の都合で日程を変更することもあります。

日 時	科 目	講 師	内 容
10月29日 (月) ↓ 11月2日 (金) この間の5日間で実 施する。 (9:00~16:00) <b>実習会場</b> 富士工業技術支援 センター試験室等	実 習 (24時間) ・紙料調成 ・抄紙試験 ・紙質試験 ・印刷試験	富士工業技術支援センター 製紙科研究員	
11月2日 (金) (16:15~16:25)	閉 講 式		

注:実習については、小グループ編成(1組10名以内を目途)して、上記4科目を実施します。

従って編成グループによって実習科目の順番や日程が異なります。

注:実習科目は上記の4科目を予定しています。都合により一部変更する場合があります。